

S/F REAL4

Q&A

【母屋】

 あい ホールディングスグループ 

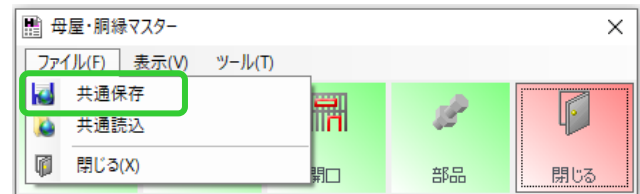
株式会社 **ドットウェル** ビー・エム・エス

DATA LOGIC

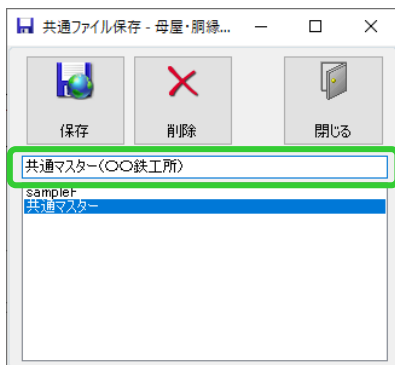


母屋・胴縁で登録したマスターを標準設定にしたい！ 共通保存しておくと、新規工事作成時に選択可能です。

【母屋マスター】または【胴縁マスター】で部材やピースなどを登録後、
【ファイル】 - 【共通保存】をクリックします。

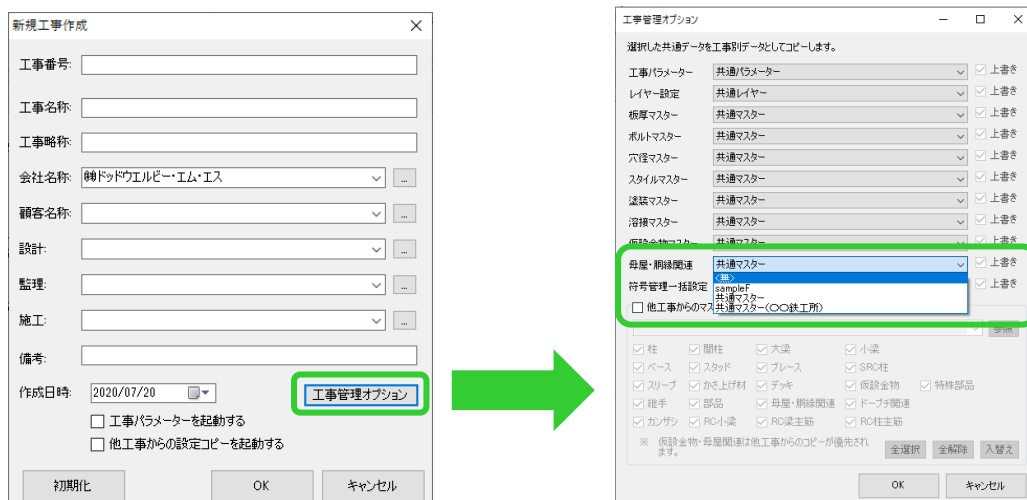


共通マスターの名称を入力し、保存します。



既存の『共通マスター』『sampleF』に上書き保存すると、バージョンアップのタイミングなどで内容が初期値に戻る可能性があります。
必ず名前を入力して共通保存を行ってください。

新規工事を作成する際に、【工事管理オプション】 - 【母屋・胴縁関連】で共通保存したマスターを選択します。
この作業は各パソコンで一度行って頂ければ初期値となり、次回から行う必要はありません。



共通化を行う前に作成した工事に共通保存したマスターを使用したい場合、
【工事管理オプション】 - 【母屋・胴縁関連】を選択し上書きにチェックを付ける、または【母屋・胴縁マスター】 - 【ファイル】 - 【共通読み込み】で保存したマスターを選択し読み込みを行います。
ただし、既に母屋・胴縁を配置している場合は、使用しているマスターが削除されるので行わないでください。

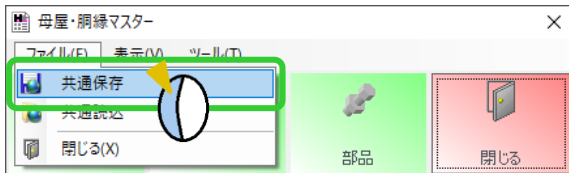


部品マスターで使った部品を共通化したい！

母屋・胴縁マスター内で標準設定されている部品は登録可能です。

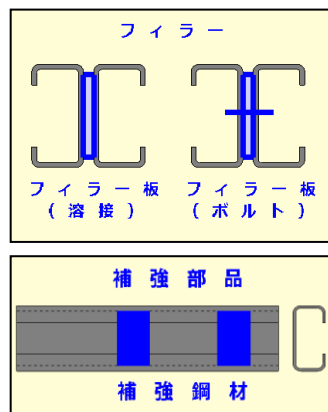
母屋・胴縁マスター - 部材マスターやピースマスターで使用しているフィラーや端部部品・補強部品は、

【母屋・胴縁マスター】 - 【ファイル】 - 【共通保存】で、部材・ピースと合わせて共通化します。

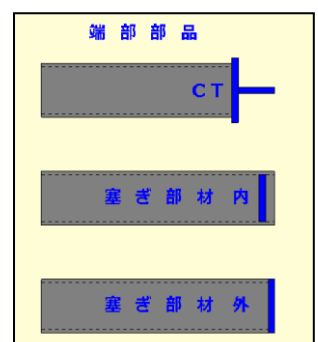


＜部材マスターにて設定可能な部品＞

部材名	D2W
管理名	
メモ	胴縁 背合せ
材種	5 - C形鋼
サイズ	100x50x20x2.3
材質FLG	4 - SSC400
定尺長さ(m)	12
鋼材組み合わせ	2 - J1
端部部品	6
フィラー	6 / PL-6x80 / 2C背合わせ用
ピース取り付け位置	8 - 中心
端部部品	なし
補強部品	なし
支持ピース	PL6
接続ピース	PL6W
コーナーピース	PL6C
カラー設定フラグ	1 - しない

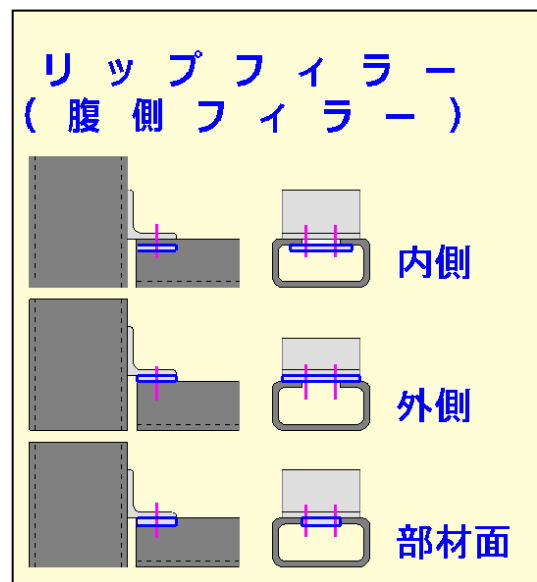
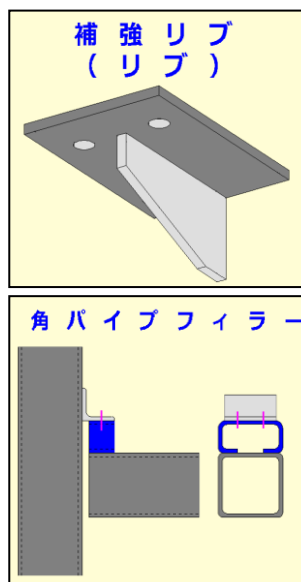


部材名	K102
管理名	
メモ	胴縁口
材種	17 - STKR
サイズ	100x100x2.3
材質FLG	60 - STKR400
定尺長さ(m)	12
ピース取り付け位置	1 - 背
端部部品	CT / BT-96x100x6x6
補強部品	なし
支持ピース	PL6
接続ピース	PL6W
コーナーピース	PL6C
カラー設定フラグ	1 - しない



＜ピースマスターにて設定可能な部品＞

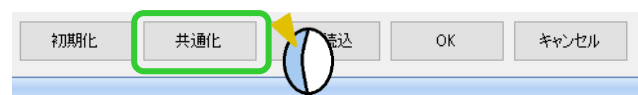
部材名	PL6
管理名	
メモ	
ピース種類	1 - 支持ピース
型紙・部品名生成方法	1 - 符号管理
材種	1 - プレート
サイズ	6
長さ	90
材質	1 - SS400
自動サイズ調整	2 - する
補強リブ	3b / PL-6x100 / PLネコ補強用
補強リブ自動サイズ調整	1 - しない
接続(両方)	2 - ボルト接続
ボルト合わせ位置	0
PL接続長	0
PL形状	7 - パターン7
PL料めの立ち上がり	0
スカップ種類	1 - パラメーター
スカップ径	0
立ち上がり	0
角パイプフィラー	3 - フィラーあり(全鋼材)
角パイプフィラーの径	3.2 / C-100x50x20x2.3
角パイプフィラーを回転	1 - しない
角パイプフィラーの長さ	2 - フィラーあり
リブフィラー	3.2 / PL-3.2x80 / PL3.2
ボルト種類	1 - BTN
ボルト貫通	2 - する
ボルト径	12



部材マスターやピースマスターで使用していない部品を共通部品マスターに登録したい場合は

【母屋・胴縁マスター】 - 【ファイル】 - 【共通保存】では共通化されないため、

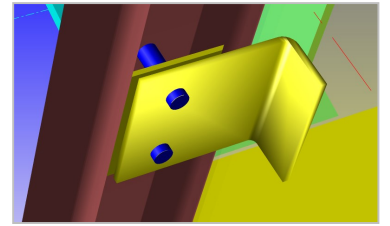
部品マスターで共通化を行ってください。





リップ側フィラーの設定をしたい！

胴縁・母屋マスターで設定ができます。

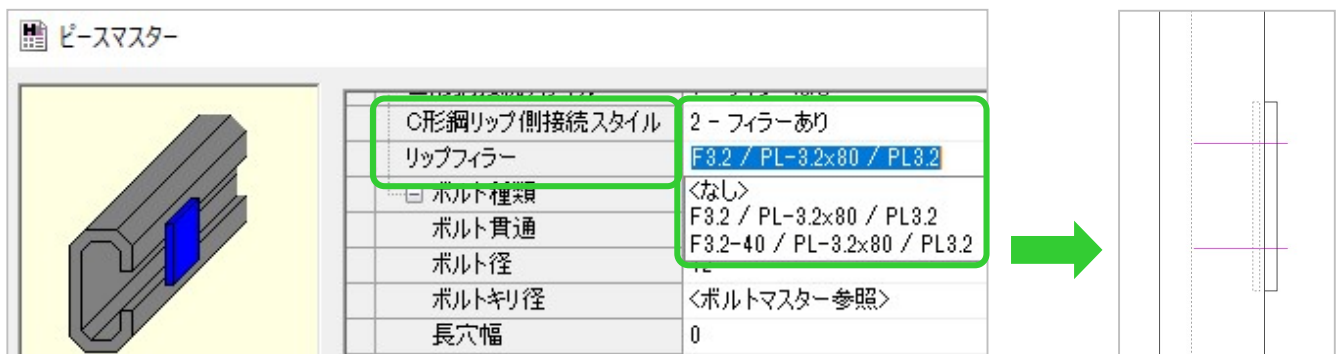


【胴縁】もしくは【母屋】タブにてマスターを開き、【ピースマスター】を開きます。

リップ側フィラーを設定したいピースの部材名をダブルクリックし、編集画面を開きます。

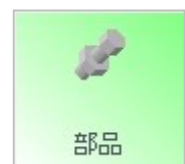
部材名	ピース種類	材種・サイズ	材質	メモ
N1	支持ピース	PL - 6x90	SS400	PL6-2
NTJ	接続ピース	PL - 6x90	SS400	PL6-2
K1	コーナーピース	コンピース - 55x40x3	SS400	KP2-80-3.2S

【C形鋼リップ側接続スタイル】を【2 - フィラーあり】と設定し、【リップフィラー】にフィラー板を設定すると、ピースがリップ側配置時にリップフィラーが配置されます。



フィラー板の登録について

【リップフィラー】の項目で選択できるフィラー板は、あらかじめ【部品マスター】にて登録されています。別サイズを使用されるときは【部品マスター】で新規登録をしてください。



<ピースマスターで名前を付けてから部品マスターで登録する場合>

【ピースマスター】にて【リップフィラー】項目へフィラー板部品名を新規入力した後、【部品マスター】で部品種類を【9 - 腹側フィラー】としてフィラー板を登録します。

○形鋼リップ側接続スタイル	2 - フィラーあり
リップフィラー	F3.6
□ボルト種類	4 - BTN

部材名	部品種類
F3.6	腹側フィラー(内側)
部材名	F3.6
管理名	
部品種類	9 - 腹側フィラー



既製品リップフィラーについて

現在、REAL4 では既製品のリップフィラーには対応しておりません。使用したい場合は、既製品に近い形を【部品マスター】にて作成し、【フィラー位置】は【3 - 部材面】を選択し、登録をしてください。

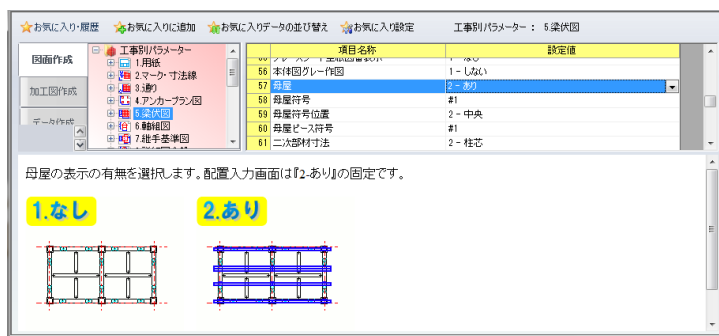




母屋割付図を作図したい！


梁伏図のパラメーターで設定出来ます。

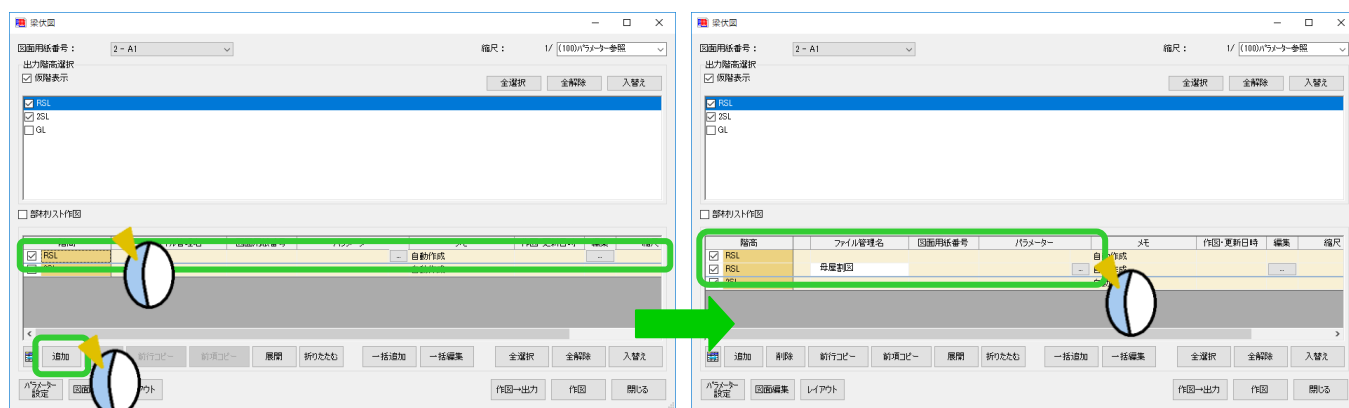
【ファイル】 - 【パラメータ】 - 図面作成 - 5.梁伏図
56) 本体グレー作図~60) 母屋ピース符号 で
設定します。



＜「母屋割付なし」と「母屋割付あり」の梁伏図を同時に作図する方法＞

【作図】 - 【梁伏図】を開き、母屋が配置されている階高を選択し、**追加**をクリックします。

追加した行の【ファイル管理名】に『母屋割図』など、母屋の有無が区別できるよう管理名を入力します。
パラメーター欄のをクリックすると指定表示設定が起動します。



全選択または必要なパラメーターのみにチェックを付け、個別にパラメーターを設定し、終了します。

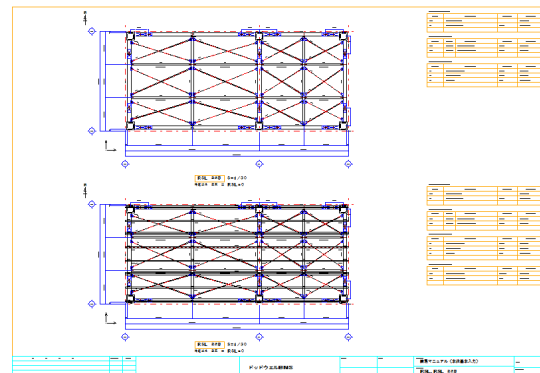


使用例)

メインのパラメーターでは
57) 母屋 を 1-なしにし、
個別パラメーターで 2-ありで作図

作図または**作図→出力**を行うと、2種類の図面が同時に作図されます。

※右図はレイアウト設定で組合せ作図したものです

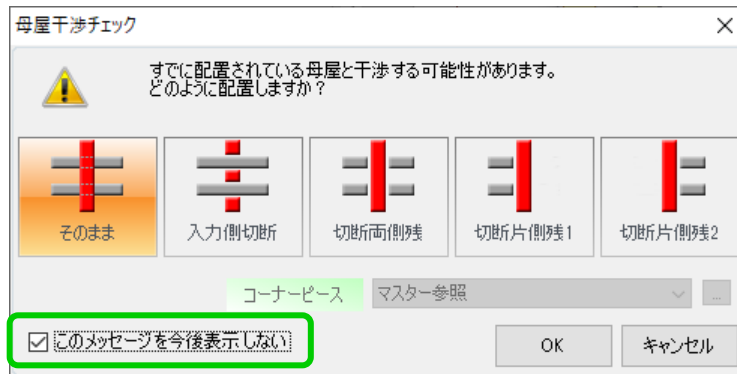




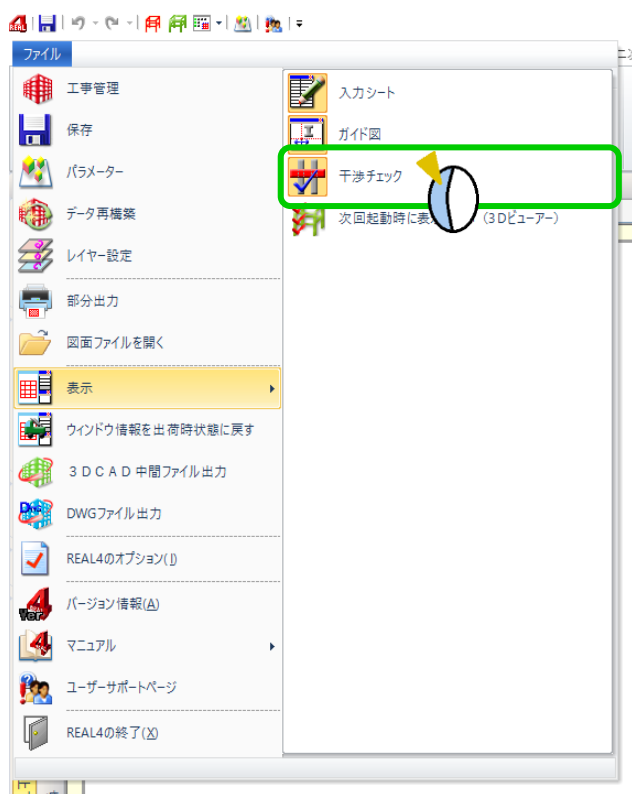
母屋・胴縁入力時の干渉チェックの画面が表示されなくなった！ 画面左上の「ファイル」タブから設定できます。

母屋配置などを行うときに、部材同士が干渉する場合の処理方法を選択する画面です。

『このメッセージを今後表示しない』をチェックして処理を続行すると、次回より非表示になります。



【ファイル】 - 【表示】 - 【干渉チェック】をクリックし、表示の ON/OFF を切り替えます。

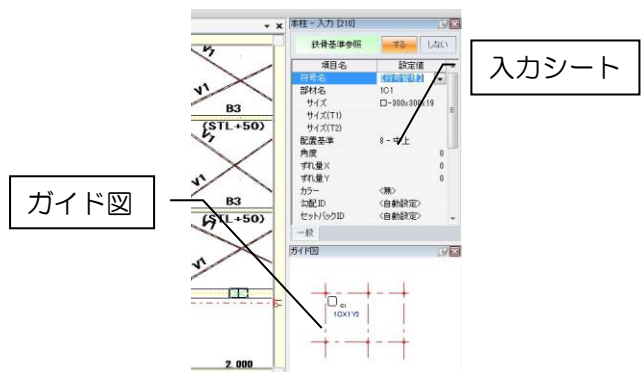


入力シート

入力シートの表示を切り替えます。

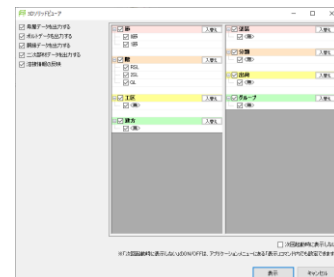
ガイド図

ガイド図の表示を切り替えます。



次回起動時に表示しない (3D ビューアー)

3D ソリッドビューアー起動時に出力するデータ種類や階・工区を選択する画面の表示を切り替えます。



ON (干渉チェックを表示します)



OFF (干渉チェックを表示しません)



母屋加工図に溶接ピースが表示されない！

パラメーターで表示の有無を設定できます。

【パラメーター】 - 【加工図作成】 - 【33.母屋加工図】 - 28) 溶接接続部品 を参照します。

設定値を【2.する(1階層まで)】または【3.する(2階層まで)】に設定します。

★お気に入り履歴 ★お気に入り追加 ★お気に入りデータの並び替え ★お気に入り設定

項目名称	設定値
25 加工図(下図)の鋼材描画向き	5 - 配置なり
26 溶接接続部材の描き方表示	1 - 配置基準
27 溶接接続部材の描き方表示	2 - あり
28 溶接接続部材の表示	2 - する(1階層まで)
29 溶接接続部材の表示	1 - しない
30 部材配置方向矢印	2 - する(1階層まで)
31 「組立」条件	3 - する(2階層まで)
32 左右反転集約	1 - しない
33 上下反転集約	1 - しない
34 符号名の考慮	2 - する
35 組鋼材の表示方法	1 - 組み合わせ[C]
36 切り欠き表示	2 - する
37 工区名集約	3 - 用紙ファイルに依存
38 塗装名集約	3 - 用紙ファイルに依存
39 分類名集約	3 - 用紙ファイルに依存

溶接接続情報(ピース、母屋、フィラー)の表示の有無を選択します。↓

『1.しない』:溶接ピース、溶接母屋、フィラーを表示しません。

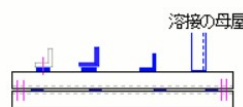
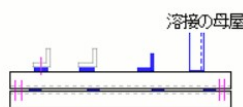
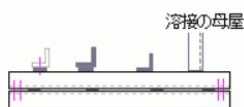
『2.する(1階層まで)』:溶接する母屋、ピースを表示します。フィラーが付く溶接ピースの場合 フィラーだけ表示します。

『3.する(2階層まで)』:溶接するもの全てを表示します。

1.しない

2.する(1階層まで)

3.する(2階層まで)



＜溶接接続部品を表示＞

符号名	M1-1	数量	1本(1台)	工区	A	ボルト径	M12	長さ	6120
サイズ	C-100x50x20x2.3	単独品	組立品	○					

X1- X3



胴縁加工図の場合も同様にパラメーターで設定が可能です。

【32.胴縁加工図】 - 29) 溶接接続部材の表示 を設定してください。

★お気に入り履歴 ★お気に入り追加 ★お気に入りデータの並び替え ★お気に入り設定 工事別パラメーター : 32.胴縁加工図

項目名称	設定値
25 加工図(上図)の鋼材描画向き	5 - 下図の上面
26 加工図(下図)の鋼材描画向き	5 - 配置なり
27 溶接接続部材の描き方表示	1 - 配置基準
28 溶接接続部材の表示	2 - する(1階層まで)
29 溶接接続部材の表示	1 - しない
30 部材配置方向矢印	2 - する(1階層まで)
31 「組立」条件	3 - する(2階層まで)
32 左右反転集約	1 - しない
33 上下反転集約	1 - しない
34 符号名の考慮	2 - する
35 組鋼材の表示方法	1 - 組み合わせ[C]
36 切り欠き表示	2 - する
37 工区名集約	3 - 用紙ファイルに依存
38 塗装名集約	3 - 用紙ファイルに依存